

令和2年度 音楽科第二回課題一覧

1. まとめ方
・1行目に科目名、2行目に学籍番号・氏名、4行目から書き始めてください。
2. 質問
・メールで受け付けます。(下表の各担当科目の先生へ連絡してください。)
・メールのタイトルには「質問(科目名) 学籍番号 氏名」を必ず入れてください。
・総合問合せ先(益子先生)
※課題以外でも、不安なことはご相談ください。
3. 提出先
・メール提出できる場合は、担当教員に直接提出(メール送信)してください。
・郵送の場合は学校へ郵送してください。

郵送先
〒321-0346 宇都宮市下荒針町長坂3829 宇都宮短期大学 音楽科 益子徹 宛
※すべてまとめて郵送してください。
4. 提出締切日 5月5日(火) 17:00(郵送、メールともに)
5. その他
・課題への質問や不明点は、遠慮なく担当教員に連絡をしてください。
・もし、体調不良等で課題が終わらない場合には、提出期限前に各担当教員及び益子先生へ必ず連絡をしてください。

1年生

科目名	担当教員	学年	時期	課題内容
英語 I	永岡靖子	1	前期	(1)ミュージックセラピーは、何故大切かを考え、自分の意見を日本語でまとめて下さい。(30語くらい)その日本語でまとめたものを、英和辞典、和英辞典を使用して、英訳して下さい。 (2) Japan Timesの以下のホームページに掲載されている英文を読み、わからない単語を調べた上で、英文を和訳して下さい。 https://www.japantimes.co.jp/news/2016/02/11/national/science-health/music-therapy-increasingly-recognized-japan-hospital-patients-elderly/ ★手書きの場合は書いたものを写真に撮り、メールで提出して下さい。 ★Wordの場合もメールで提出して下さい。 参照ホームページへのリンク
体育実技	河田隆	1	通年	【課題】あなたの小学校、中学校、高校のスポーツ歴(例として体育授業・スポーツクラブ・部活動・その他)について書きなさい。また、そのスポーツ体験より①身体的②精神的③社会的にどんな発育発達効果がありましたか。具体的に2000字(A4用紙2枚)でまとめなさい。
歴史学	安藤哲	1	前期	下記に示す、いくつかのポイントを参考に、500字～1000字以内でまとめよう。(尚、PC又は手書きで、A4用紙かルーズリーフ1枚にまとめ、メール又は郵送する) 課題1回 先人の知恵のかたまりである「キノコ図鑑」について、深く考えてみよう。 (ポイント) ・なぜ「キノコ図鑑」が必要とされるのだろうか。 ・なぜ、そのキノコが食用か否かがわかったのだろうか ・「キノコ図鑑」の知恵からスタートできる私たちの暮らしを、一寸だけ考えてみよう ・先人の過去の暮らし(歴史)を知ることの意味を、一寸だけ考えてみよう 課題2回 私たちが生き続けるために、絶対に欠かせないものはなんだろう。 (ポイント) ・生きていくために、必ずしも無くても良いものを考えてみよう ・必要なものを、どのようにして手にいれているのだろうか ・必要なものは、どのように生みだされているのだろうか ・なぜ「土地」をめぐる争いが生まれるのだろうか
情報機器操作	堀 圭三	1	前期	総務省、警視庁のHPより、インターネットトラブルについて調べ、これまでの使い方や気をつけるべき点を10選び、それぞれについて100字程度コメントをつけてください。
介護の基本	小野篤司	1	前期	【課題1】高齢者の特性として、加齢により、精神的機能および身体的機能は一般的にどのように変化していくといわれているか調べ、わかったことをまとめる。 【課題2】「課題1」で調べた高齢者の特性を踏まえて、自分が音楽療法士として高齢者を支援する際の課題を考えてまとめる。 (A4、2枚、計2000字程度)
音楽理論	益子徹	1	通年	教科書「やさしく学べる音楽理論」のp.7～17の内容をよく読み、文中の問題Ex1～6を五線紙上に解き、上部に学籍番号と名前を書いて、写真にて提出してください。
音楽理論<和声学>	菊地由記子	1	通年	課題:教科書の次の①、②、③のページを熟読する。難しかった部分や覚えておきたい部分を抽出し、A4用紙1枚分にまとめる。写真に撮るかpdfデータにしてメールで提出する(五線紙使用の場合はB5サイズ可。) ①P.13～15 (特に覚えない内容) ・3和音の構成音(根音、第3音、第5音) ・I、II、IV、V、VI(III、VIIはしばらく使わない) ・基本位置、第1転回位置、第2転回位置 ②P.17～20 (特に覚えない内容) ・4つの声部から成る4声体。各声部ソプラノ、アルト、テノール、バスと呼ぶ。 外声、内声、上3声。 ・各声部(ソプラノ、アルト、テノール、バス)の使える音域。 ・配分(密集、開離、オクターブ) ③P.21～22の課題1の前まで(実際に4声体を書くための手順が書いてあります) 次の※印は教科書には明記されていないが覚えてほしいこと。教科書に出てくる4声体の和声を見て、そのようになっていくか、ぜひ確かめてください。 ※内声間(アルトとテノールの間の距離は1オクターブ以内) ※4声体は次の構成音の組み合わせでできている。 ・根音の個数…1個or 2個or 3個 第3音の個数…1個 第5音の個数…0個or 1個or 2個 ★和声既習者はどれくらい覚えているか確認しながら、また、初めての方は新しい知識が備わるよるこびをもって、じっくり取り組んでください。今、理解できなくても、今後繰り返していくことで深く理解できるようになるので安心して下さい。焦らずじっくりと取り組むことが上達のコツです。
ソルフェージュ(1年)	益子・新井・鎌田	1	通年	「視唱の練習」 p.15-4b, p.17-9b, p.19-15, p.21-19を五線紙に写譜し、上部に学籍番号と名前を書いて、写真にて提出してください。また、この3曲の練習をしてください。
合唱(1, 2年)	坂寄和臣	1,2	通年	ベートーヴェン作曲交響曲第9番第4楽章の歌詞を、原語(ドイツ語)でノートに書き写し(ウムラウトなど注意)、その下に訳詞を書き、言語の意味をよく理解してください。また、発音記号(カタカナ発音)を参考に、発語の練習をしてください。ノートに書き写した歌詞は上部に学籍番号、名前を書いて、写真にてメールで提出してください。
副科声楽(1年)	大貫裕子	1	通年	教科書として配布された「コンコーネ」の中の1番～3番まで各パートの音取りをしア母音で歌うこと。またこれらの曲の歌唱の際に工夫が必要だと思われることをレポートにて提出すること。
重唱	大貫裕子	1	通年	ヴェルディのオペラ作品のうち一つをDVDもしくはYouTube等で鑑賞し、感想をレポートして提出すること。指揮者、演出家、出演者の名前、また開催の劇場も記入すること。
楽曲分析	益子徹	1	前期	教科書「和声と学識のアナリゼ」のp.83～をみながら、CDまたはYouTubeでベートーヴェン作曲ピアノソナタ8番「悲愴」第三楽章を、調性や和声進行を見ながら聞いてください。そのうえで分からなかったことをA4用紙1枚(1000字程度)にまとめ、メールまたは郵送で提出してください。

科目名	担当教員	学年	時期	課題内容
コード進行法 I	井上まどか	1	通年	1. シラバスの「コード進行法 I」を参照し、 ①コード進行法とは何か ②学ぶ目的・目標 について考察し、1000字程度でA4用紙にまとめ、提出してください。 2. ROOT=Cのコードネームについて表にまとめ、写真に撮りメールにて提出してください。
電才創作編曲 I	井上まどか	1	通年	シラバスの「コード進行法 II」を参照し、 ①終止形について調べ、 ②それぞれの終止形の効果と意味について考察し、 1000～2000字でA4用紙にまとめ、提出してください。
ピアノ指導法	阿久澤政行	1	前期	①ピアノの構造と歴史について調べる ネットでの参照の場合:YAMAHA ピアノ誕生ストーリーを参考とし、自身の言葉にてまとめる (https://www.yamaha.com/ja/musical_instrument_guide/piano/structure/) ②以下の各ピアノの特徴について調べまとめる (スタインウェイ・ペーゼンドルファー・ベヒシュタイン・ヤマハ・カワイ(シゲルカワイを含む)) ③課題での考察で学んだことをまとめる 計2000字程度とし、A4用紙にて提出。 参照ホームページへのリンク
音楽療法概論	大島美知恵	1	前期	Google Scholar(グーグルスカラー)を検索し、「音楽療法とは何か:音楽の根源に備わる多様な力の利用」星野悦子著を読む。その内容から音楽療法の定義、歴史、対象についてまとめる。また読書前後で自身の音楽療法に対する考えがどのように変化したかを記述する。(2000字程度)
邦楽概論 I	前川智世	1	前期	三味線の違い(義太夫・地歌・長唄・津軽)を聴き、それぞれの音の違いをまとめ、レポートにて提出。 【例】棹の太さ・撥の大きさ・駒の種類など
療音楽研究(1年)	大島美知恵	1	前期	唱歌、童謡の中から4曲を選び、その曲の作曲家、作詞者、曲の背景、その曲が作られた年代の出来事について調べる。(2,000字程度)
音楽基礎演習 I	益子徹	1	通年	音楽を学ぶ上で必要な知識、技能、心構えなどを、自分の経験を踏まえたうえで考察し、A4用紙2枚(2000字程度)にまとめて、メールまたは郵送にて提出してください。
楽器調整法(和楽器)	和久文子	1	通年	箏の楽器構造や名称の由来について調べ、1500～2000文字程度にまとめレポートにて提出。
吹奏楽概論 I	田村和久	1	前期	①吹奏楽指導の現状とこれからの指導者に求められるもの(レポート1000字でA4用紙にまとめ、提出してください。) ②日本における吹奏楽の歴史とコンクールの歴史を比較し、その中の演奏曲の推移について(A4用紙1000字程度、書式は自由です。)
アンサンブル演習	林美智子	1	前期	①木管アンサンブルと金管アンサンブルについて、どんな編成があるか調べて一覧にする。細かい楽器編成も記載すること。二重奏は含まない。②木管アンサンブル、金管アンサンブル、打楽器アンサンブルそれぞれの特徴(良さや難しさ)を自分の考えを交えてA4 1ページ以上にまとめる。③小学生から参加できるアンサンブルのコンクールを3つ以上調べ、それぞれの審査方法や参加条件についてまとめる。
教育原理	遠藤忠(UCC)	1	前期	添付ファイル参照
教職概論	杉山正明	1	前期	あなたが新任教員として中学校に赴任し、生徒会新聞から自己紹介を寄稿するよう依頼されたとします。その原稿をA4判1～2枚(1600～2500字程度)にして提出すること。 その際、以下の①～⑤を盛り込むこと。なお、自己紹介の趣旨からして、②で自作曲、③で自分の楽器の先生をあげることは避け、できるだけ多くの中学生に理解してもらえるよう工夫すること。 ①好きな作曲家 ②好きな楽曲(できれば①以外の作曲家の作品) ③好きな演奏家(できれば②とは異なる楽器の演奏家) ④なぜ中学校の音楽の教師を目指したのか ⑤音楽の授業でどのようなことを学んでほしいか 〈例〉①モーツァルト ②ブッチーニノ歌劇《ボエーム》 ③田部京子(ピアノ)
特別支援教育	土沢薫	1	前期	知的な遅れのある児童・生徒に対して、ウイルス感染を防止するために十分な手洗いの大切さと、手洗いの正しい仕方を伝えるための方法を考え、そのアイデアを2000字以内でまとめてください。(レポートは期限までにメールに添付して提出。メールの件名に「特別支援教育(音)課題提出」、本文に【氏名】を入れる。紙芝居・模型など制作物を使う場合は、実物の写真やイラスト等を添付する)

「教育原理」の課題

担当教員…遠藤忠

I 課題内容

私たちが生きている現代は、明治維新から始まったとすることができます。その理由は、「自由」と「平等」を目指して国づくりを始めたという点に求められます。もちろん明治維新から一五〇年余りの間でその程度は同じではありません。一気に「自由」と「平等」の国づくりを目指したのではなく、國の安定を壊さないようにゆっくりと進めてきたのです。もちろん、間違いもあり、無駄もありました。

さて、添付した三つの文書、「学制序文」（一八七二年）、「教育勅語」（一八九〇年）、「教育基本法」（二〇〇六年）は、この一五〇年間のわが国の教育が目指すべき目的を示した三つの国家的文書です。

その口語訳を読み、筆写した上で、それら教育目的（人間像）の違いを述べなさい。

II 提出方法

メールあるいは郵送

メール宛先：endo@kyowa-u.ac.jp

学制序文（現代語訳）

一八七二（明治五年）八月三日

人々が社会的に自立し、自分の仕事を日々行い、発展させて生活するには、なによりも人々が人としての文化を身につけ、知識を獲得し、能力を発達させることがきわめて重要である。そして、文化を身につけ、知識を獲得し、能力を発達させるには学ぶことが必要なのである。

それゆえ、学校制度をつくらなければならないのである。普段の行動や言語の使用、書いたり計算したりすることをはじめとして、軍人や役人、農業、商業、様々な製造業さらに、法律や政治の仕事、天気予報や医療などの仕事に至るまで普通の人間が行うことはどれでもまず学ぶことが必要なのである。人々はその才能に応じて努力して学んでこそはじめて生活を成り立たせ、新しい事業や仕事を始め、それを発展させることができるのである。

したがって、学ぶということは個人が社会的に自立する基盤であって人であればだれでも学ばなければならないのである。路上で腹をすかしてうろついている浮浪者などは学ばなかったからそのような間違いを犯すことになったのである。

これまでも古くから国家がつくった学校制度はあったがその基本的考え方が間違っていた。つまり、学問を特権的なサムライ階級だけのものと考えて、一般の農民や職人、商人さらには女性などを排除していた。このことは「学問は何のために存在するのか」ということを理解していないことであった。また、サムライ階級で学問を学ぶ

ものも、しばしば「国家のために学問をするのだ」と言って、本来学問は個人が社会的に自立するために存在するのだということを知りなかつた。その結果、細かな文章の暗記やら、現実とかけ離れた空論や無駄話をするばかりで、一見高尚なことを言っているようだが、自分自身が実践し具体的に役に立てることができない場合が多かつた。これは長く続いてきた誤った習慣であつて、社会に文明が普及せず、個人の能力が発展せずに、貧乏になつたり破産したり、一家離散するような人々が数多くいた理由である。

だから、人々は必ず学ぶことが必要なのであり、また、学ぶ場合にはその基本理念、目的を間違わないことが重要なのである。

このような理由から、このたび文部省では学制という法律を定めたのである。これに続けて教育課程の基準に関する規則も改正、告示するので、これからは、すべての人々は、身分（華士族卒農工商）や男女の差別なくどの村でも学校に通わない子どもが必ずいないように、どの家でも学校に通わない人がいないようになることを期待している。

人の親や保護者はこのことをよく理解し、子に対する愛情を強くもち、子どもたちを学校に通わせるようにしなければならぬ。上級の学校は才能に応じて入学するものだが、小学校はどんな子どもでも男女の差別なく通わせるようにしなければ、親の過失となるので、注意すること。

「教育ニ関スル勅語」(現代語訳) (一九四〇年の文部省による現代

語訳に読みやすく手を加えた)

私がおもうに、わが皇室の祖先たちが国を御始めになったのは遙か遠き昔のこと
で、それ以来国内に御築きになった徳は深く厚きものであった。わが臣民は忠と孝の
道をもって心を一つにし、代々にわたってその美しい道を守ってきたのである。これ
こそ我が国体のすぐれたところであり、教育の根本もまたそこに基づくものである。

なんじたち臣民は、父母に孝行し、兄弟仲良くし、夫婦は調和よく協力しあい、友
人は互いに信じ合い、慎み深く行動し、皆に博愛の手を広げ、学問を学び手に職を付
け、知能を啓発し徳と才能を磨き上げ、世のため人のため進んで尽くし、いつも憲法
を重んじ法律に従い、もし非常事態となったなら、公のため勇敢に仕えよ。

このようにして皇室の繁栄が永遠に続くように力を尽くさなければならない。これ
らは、ただなんじたちがわが忠実で良き臣民であるというだけのことではなく、なん
じたちの祖先の遺した良き伝統を高く評価し讃えることでもあるのだ。

このような道は実に、わが皇室の祖先の御遺しになった教訓であり、皇室の子孫と
皇室の臣民が共に守らねばならないもので、昔も今も変わることなく、また、国内だ
けでなく外国においても間違いのない正しい道なのである。私はあなた方臣民と共に
これらを心にかたく銘記し、皆で一致してこのような道德の道を歩んでいくことを希
望している。

「教育基本法」が定める教育の目的・目標（第一条、第二条）

第一条 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

（教育の目標）

第二条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

- 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。